

佐呂間町森林組合

このように、ポプラは古くから愛林家と深い関係にあり、将来更に一層その関係を深めようとしてゐるのである。		Bクラス		
本道造林は、伐期が非常に長く、最も早いカラマツでも二五・三〇年ではかかり、一〇・二〇年では伐採利用できる樹木は見当らない。そこで改良ポプラの登場となつた訳であるが、改良ポプ		ロブスチ種 グルビカ種 I 二六二号種 ユーカーピタス種 エツクホフ種 ヤコメツテ種 レジネーディア種 マリランダイカ種		
これら奨励品種は、気象、土壌に対する適応性、病虫害に対する抵抗力などの成		5月17日 6月17日 7月17日 8月8日		
I	214	6.473.9	194.4	246.1
I	455	7.273.3	191.4	246.1
I	476	5.682.3	213.2	274.3
I	45 51	3.957.0	168.3	216.2

(下段表参照)

＝抵高性の高いもの
一抵抗性のあるもの
＋感受性のあるもの
±感受性の高いもの
①樹皮につく蛾虫
②発芽の初期
③若い時代に著しい
④樹皮の裂目に限られる
さて以上の結果から、佐
世間町に最も適する品種を
選に選択する訳であるが、

と報告さ
の数字に
告者の研
らないの
間町の理
にはいか
の、ボブ
るための
に役立つ
改良
により容
けと殆ど
している
の実験に
の成績は
1 1 1 1
1 1 1 1
45 45 45 45
の増殖に
以上の苗
、安撫な
家増殖を
と考へら
サシ種

由が挙げ	20,900	101,600	122,500	5	指大の太
に栽培木	15,700	56,300	72,000	4	、長さ一
間に伐採	11,600	18,400	30,000	5	り、上端
主目的と					めに削り
良ポプラ					〇の間に
う。					端が床面
従つて					よう垂直
、農家が					サシ付
において、					五日から
ポプラの					、それから
も農産収					新多が十
収穫を得					びるから
意義があ					条を残し
麦類、					を行う。
					基準とし
					四〇g、
					燐酸石灰
					七〇g、
					肥として
					硫酸一〇
					るとよい
					定植地
					は、なる
					根部のよ
					選び、土
					、単木、
					ように植
					を促進し
					ることが

河川、灌漑、農産物の運搬、木材の採取、果樹の栽培、畜産、漁業、工業、商業、交通、教育、医療、文化、娯楽、住宅、公共施設、公園、スポーツ施設、その他、多岐にわたる。本計画は、これらの多岐にわたる事業を、総合的に推進することを目的とする。

します。すが、原伐ることには二—三四尺位のく切り去る寸位の厚さの原木をこれより取扱に不れり短菌の繁殖菌種の殖行う様にとも五月せて下さなりましたので維菌所を多菌の上にその生の移動して所の条件木を置く雑菌及乾燥ぬ様選ばす。よした様なているが良くで、良くて、日蔭のあ選ぶこと地とか大如き処は僅かばかりなせん。骨通、合堂に、をこのの販賣するには雨前に取さの全開さを下にて通風の並べて

で書きます。
